

まちの話 だい

8月8日 | 川根の空中散歩を満喫

難病を持つ子どもとその家族が全国から集まるサマーキャンプ「がんばれ共和国・しぞーかキャンプ」が川根地区で開催されました。

市内開催が2回目となる今年のキャンプには、県内外の子どもとその家族、そしてボランティアなど約170人が参加。熱気球体験では、しばしの空中散歩を楽しみました。遊びや体験を通して、子どもたちの夏は多くの笑顔で彩られました。



8月7日 | 看護の責任と使命を実感

看護への理解と関心を深め、将来の進路選択の一助としてもらうため、島田市民病院で「高校生一日ナース体験」が行われました。

今年は、志太榛原地区など11校から男女36人が参加し、現役看護師の説明を受けながら、さまざまな実習に取り組みました。新生児を抱いた生徒たちは、小さな命に感動しながらも、看護師の責任と使命を実感していました。

8月10日 | 大井川の夜空を彩る大輪

「第28回大井川大花火大会」が開催され、約8,000発の花火が約16万人を魅了しました。

今年のオープニングでは、新市誕生10周年を記念して「10」をかたどった花火を市歌に合わせて打ち上げ。その後も次々と打ち上げられる大輪の花々が、川面を華やかに染め上げるたびに、島田側と金谷側の両会場から、大きな拍手と歓声が上がりました。





8月23日 | 髷姿で街道を練り歩き

話題の「島田髷娘体験ツアー」が今年も開催され、市内外から女性6人が参加しました。

髷結いには、市内6店の美容室が協力。参加者の地毛に合わせて「乙女島田」や「勝山」など伝統的な髪型が選ばれました。川会所での貴重な結い上げ体験を終えた参加者は、川越街道を浴衣で散策。同日に開催されていた「博物館大学かわごし川越オープンキャンパス」に花を添えました。

8月25日 | 銘茶の個性を五感で評価

金谷新町のかなや会館で、島田市茶業振興協会による「島田市茶審査会」が行われました。

出品されたお茶は、普通煎茶と深蒸煎茶の合計52点。6人の審査員は、各農家が丹精込めて生産したお茶の外観・香り・水色・滋味を厳正に審査。今年は、普通煎茶の部で初倉旧初茶農業協同組合、深蒸煎茶の部で船木第一茶農業協同組合が、最高賞の「優等」に選ばれました。



8月15日 | 湖面を揺らす夏の風物詩

川根町家山の野守の池で「野守まつり」が開催され、恒例の「和船漕ぎ大会」が行われました。

今年は、27組54人が5部門に出場。選手たちは2人1組で和船に乗り込み、約120mのコースをスタート。湖畔からの声援を受けながら、渾身の力でオールを漕いでゴールを目指しました。夜には、花火大会や灯籠流しが行われ、湖面と川根の山々が彩られました。